

市政を問う!

一般質問という議員主導の政策論議



今回は16人でした

高山 賢二 議長

議員が市長や教育委員会などに対して、市政全般の執行状況や方針等を問うたり、説明を求めたりしました。

マイナ保険証の利用促進への取り組みは

答弁 正しく理解できるよう丁寧な説明と情報発信に努めたい



井手口 忠信 議員

の正しい情報発信に取り組んでいきたい。

問 本年12月に保険証が廃止され、マイナ保険証に移行する。マイナ保険証は、薬剤の重複処方防止や保険事業の効率化、医療費の抑制、高額医療認定の手続きが不要など利点は大きい。今後、災害時の避難所運営や救急搬送にも活用される。現代の日本において、医療のデジタル化は、もはや不可避である。国は円滑な移行を推進しているが、本市の取り組みは。 **答** 厚生労働省は、マイナ保険証のメリットを正しく普及するために、利用促進に向けた動画やポスター等多様なメニューを提供している。これらを活用して、12月に向けて周知を徹底し、市民への正しい情報発信に取り組んでいきたい。



▲マイナンバーカード読み取り装置

新設校体育館にエアコンを設置するのか

答弁 新設校の体育館にはエアコンをつけるべきと考えている



秦 浩 議員

今からエアコンを配備できる環境があるので、つけるべきと考えている。

問 小学校での体育および水泳の授業における着替えは、教室や空き教室で行われている。近年は、小学1年生でも男女一緒に着替えることを嫌がるという声を聞く。移動せずに着替えられるよう、各教室に簡易カーテンを設置してはどうか。また、新設校の体育館にエアコン設置を望む市民の声がある。ここは避難所にもなる予定である。多くの避難者を収容できる体育館にエアコンを設置すべきでは。 **答** 着替え用の簡易カーテンは、必要な場合は各教室に設置しないといけないと思っている。新設校の体育館には、今からエアコンを配備できる環境があるので、つけるべきと考えている。



▲着替え用の簡易カーテンの設置が望まれる教室

防災意識を高めるための取り組みは

答弁 広報紙での周知啓発、新しい講習など積極的に取り組む



石田 まなみ 議員

本県の初代危機管理防災企画官による実体験に基づく講習を行う予定。

問 8月に起きた日向灘沖地震を機に、新たに取組む災害対策はあるか。高潮の想定区域にある保育施設の災害対策への市の考えは。 **答** 新たな取り組みはないが、引き続き、国や県と連携しながら市防災計画に基づいた対応を行う。高潮は台風や大雨などで事前予測ができるため、市と保育施設が連携して対応する。また、地域の協力を得やすい関係を作る支援をしたい。広報ふくつ10月号で防災特集を組み、市民へ啓発を図る。職員には、熊本の初代危機管理防災企画官による実体験に基づく講習を行う予定。



▲ひとりひとりの防災意識の向上を

広報ふくつ掲載の福間小1870人は正しいか

答弁 推計見直しで令和10年度の福間小は1537人となった



佐伯 美保 議員

福間小が令和10年度1537人の場合、教室数は足りると認識している。

問 広報ふくつ令和5年5月号掲載の福間小児童数の推計は令和10年度1870人だった。推計見直しで1537人になることがわかり、333人の差がある。千葉県流山市教育委員会では毎年検証しながら推計するので実績との乖離は決して起きないと伺った。本市の教育委員会ではなぜこのような乖離が起きたのか。令和10年度、福間小は1537人を受け入れられるか。 **答** 広報ふくつの推計は令和4年5月に策定した計画での数値。乖離は令和4年以降に増加率が鈍化したことが要因。新設校がない場合の推計で、福間小が令和10年度1537人の場合、教室数は足りると認識している。



▲福間小学校

教育委員会組織が異常事態と認識はあるか

答弁 現状は、正常ではない事態だと認めざるを得ない



山本 祐平 議員

乗り越えていかなければならないと思っている。

問 教育委員の任期や職員の入れ替りなど、本当に難しい状況が続いており、結果的なところの責任は特に感じている。教育委員の任期は強化してきた。課題は多いが、乗り越えていかなければならないと思っている。 **答** 教育委員の任期や職員の入れ替りなど、本当に難しい状況が続いており、結果的なところの責任は特に感じている。教育委員の任期は強化してきた。課題は多いが、乗り越えていかなければならないと思っている。



▲空席が続く教育長席



▲必要な市民サービス(宗像市のパンフレット)



病児保育お迎えサービスの必要性は

答弁 必要性を感じるサービスで、実施の可能性は排除しない

しながら、宗像市の今後の利用状況を注視する。

問 本市には市独自の子ども子育て施策が少なく、比較的小さい予算で最大の効果が発揮できる、病児保育お迎えサービスに取り組んではどうか。 **答** 本市では、子どもが人数が多く、近隣市と同じようにはいかない。この事業は、タフシの委託ができて、その時に病児保育の利用枠に空きがあること、お迎えに対応する看護師等の配置が病児保育側にあることが必要になる。県の無償化事業の影響で、病児保育の予約が取りづらいう状況。病児保育側の利用枠の問題や看護師等の配置など課題が多く、すぐに実施体制を整えることが難しい。課題を整理しながら、宗像市の今後の利用状況を注視する。

問 本市には市独自の子ども子育て施策が少なく、比較的小さい予算で最大の効果が発揮できる、病児保育お迎えサービスに取り組んではどうか。 **答** 本市では、子どもが人数が多く、近隣市と同じようにはいかない。この事業は、タフシの委託ができて、その時に病児保育の利用枠に空きがあること、お迎えに対応する看護師等の配置が病児保育側にあることが必要になる。県の無償化事業の影響で、病児保育の予約が取りづらいう状況。病児保育側の利用枠の問題や看護師等の配置など課題が多く、すぐに実施体制を整えることが難しい。課題を整理しながら、宗像市の今後の利用状況を注視する。



中村 清隆 議員



▲介護サービス申請の効率化を



介護サービス申請効率化への取り組みは

答弁 10月から介護事業所の指定更新などの電子申請を開始

申請の効率化を進めたい。

問 介護需要は今後増えていくが、担い手不足は深刻化する。業務の効率化が必要と考える。ケアプランを作成する際、介護利用者の個人情報が必要となる。役所の担当窓口で手続きを行い、別窓口でコピー代を支払い、また担当窓口に戻り情報取得する。宗像市では8月からその際のコピー代徴収が撤廃になったが、本市はどう考えているのか。 **答** 国で医療と介護の情報基盤のシステム構築の中で、市も準備をしている。個人情報取得もこれで電子申請可能となる予定だが、現在は手間を取らせている。宗像市と同じ介護認定審査会なので、対応は合わせたいが、今年度中は難しい。更なる申請の効率化を進めたい。

問 介護需要は今後増えていくが、担い手不足は深刻化する。業務の効率化が必要と考える。ケアプランを作成する際、介護利用者の個人情報が必要となる。役所の担当窓口で手続きを行い、別窓口でコピー代を支払い、また担当窓口に戻り情報取得する。宗像市では8月からその際のコピー代徴収が撤廃になったが、本市はどう考えているのか。 **答** 国で医療と介護の情報基盤のシステム構築の中で、市も準備をしている。個人情報取得もこれで電子申請可能となる予定だが、現在は手間を取らせている。宗像市と同じ介護認定審査会なので、対応は合わせたいが、今年度中は難しい。更なる申請の効率化を進めたい。



大山 隆之 議員



▲私たちの海も温暖化による影響の恐れが



カーボン・ニュートラル実現への進捗は

答弁 令和7年度に計画策定し、市全体で推進していきたい

連携も図っていく。

問 行政、市民、民間がカーボン・ニュートラルに取り組むために必要と考える。昨年9月定例会で提言した、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定および統括的な部署設置の進捗状況は。また、計画策定後に確実に実行する方法は。 **答** 令和7年度には区域施策編を策定する予定。そのために、今年度は脱炭素連携会議を立ち上げた。全庁的に行政としての責務を共有し、様々な分野での事業化をめざす。今後、連携会議では理解を深める体験ゲーム等の実施を検討したい。計画を実現していくために、国・県の補助金や支援メニューを活用し、できる限り関係各所との連携も図っていく。

問 行政、市民、民間がカーボン・ニュートラルに取り組むために必要と考える。昨年9月定例会で提言した、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定および統括的な部署設置の進捗状況は。また、計画策定後に確実に実行する方法は。 **答** 令和7年度には区域施策編を策定する予定。そのために、今年度は脱炭素連携会議を立ち上げた。全庁的に行政としての責務を共有し、様々な分野での事業化をめざす。今後、連携会議では理解を深める体験ゲーム等の実施を検討したい。計画を実現していくために、国・県の補助金や支援メニューを活用し、できる限り関係各所との連携も図っていく。



中村 恵輔 議員



▲計画変更が予定されている東福間駅周辺地区



東福間駅連絡通路は、いつ実現するのか

答弁 概算工事費が大幅増となるため、見直しをしたい

タレント業務も行っている。

問 東福間駅周辺地区整備計画の総事業費と今後、実施される事業として何を想定しているのか。 **答** 東福間駅周辺地区整備の総事業費は概算12億1700万円、令和8年度を最終年度として事業を進めている。今年度は東福間駅前広場の実施設計、若木台口広場の測量および予備設計を実施している。

問 東福間駅周辺地区整備計画の総事業費と今後、実施される事業として何を想定しているのか。 **答** 東福間駅周辺地区整備の総事業費は概算12億1700万円、令和8年度を最終年度として事業を進めている。今年度は東福間駅前広場の実施設計、若木台口広場の測量および予備設計を実施している。



榎本 博 議員

農業用施設の維持管理費の予算額は

【答弁】 令和6年度からの5年間で6214万円を見込んでいる



尾島 武弘 議員

農業用施設の補修等の申請箇所を現地確認したが、施設に対する見解は、5年間で6214万円、年平均1242万円の事業費を見込んでいる。現地では、施設の老朽化が急速に進んでいると感じた。申請数の50%以上の補修等に対応できるよう、財源を調査し、防災の観点からも農業環境を守っていききたい。

【問】 農業用施設の補修や新設の申請に対して、令和4年度は88件の申請で44件が対応済。達成率は54%。5年度は62件中29件で46%。元年度から3年度は、平均約30%になっている。5年度に策定された中期財政見通しの中で、農業用施設の維持管理費等の予算額は、また、市長は7月に、農業用施設の補修等の申請箇所を現地確認したが、施設に対する見解は、5年間で6214万円、年平均1242万円の事業費を見込んでいる。現地では、施設の老朽化が急速に進んでいると感じた。申請数の50%以上の補修等に対応できるよう、財源を調査し、防災の観点からも農業環境を守っていききたい。



▲業者による水路の浚渫作業

教職員多忙化の被害者は子どもたちでは

【答弁】 「市教職員の働き方改革取組指針」の推進で改善したい



戸田 進一 議員

教職員の多忙化で授業の準備や子どもたちの話をじっくり聞く時間が確保できなくなる。最大の被害者は子どもたちでは。どう解消するのか。教職員が健康で働きやすい環境を整え、意欲をもって授業に臨める。教育委員会は、教職員に理解を促して働き方改革を進めることで、子どもたちに良い教育環境を提示できるよう努めたい。

【問】 教職員の深刻な長時間勤務(令和5年度は月80時間以上残業した教職員が全体の18%)、産休や病休等代替者未配置事例(担任外教職員がクラス担任を兼務)等、課題は山積。さらに労働安全衛生管理体制における教職員の健康管理のための面接指導等の実施が必要。教職員の多忙化で授業の準備や子どもたちの話をじっくり聞く時間が確保できなくなる。最大の被害者は子どもたちでは。どう解消するのか。教職員が健康で働きやすい環境を整え、意欲をもって授業に臨める。教育委員会は、教職員に理解を促して働き方改革を進めることで、子どもたちに良い教育環境を提示できるよう努めたい。



▲子どもたちに目が行き届く教育環境を



▲市の経済発展のために企業誘致を

企業誘致のための条例を制定しないのか

【答弁】 今後、条例等を制定するために調査検討していきたい

条例等を制定していない大野城市と春日市は、財政力指数が高いのが理由と考える。本市は財政力と雇用創出のため企業誘致が必要で、優先度が高い案件であると認識したので、今後、調査をして進めていきたい。

【問】 本市はまだ企業誘致の条例等を制定していない。理由は何か。福岡県で制定していない市を把握しているか。本市の経済的発展と財政運営の安定化を図るため、当該条例等を制定すべきである。見解は、

【答】 条例未制定の理由は、合併後、住環境整備などを呼び込む施策を優先して取り組んだためである。未制定市は、県内29市のうち、本市を含め3市である。

【問】 本市はまだ企業誘致の条例等を制定していない。理由は何か。福岡県で制定していない市を把握しているか。本市の経済的発展と財政運営の安定化を図るため、当該条例等を制定すべきである。見解は、



米山 信 議員

他にもこんな質問がありました

議員名	その他の質問
中村 清隆	公共施設の空調設備について
大山 隆之	就労支援等の福祉事業者との連携について RSウイルスについて
榎本 博	官民連携の取り組みについて

議員名	その他の質問
井手口忠信	防災と災害時における避難所整備について
秦 浩	食の安全と食品リサイクルについて
山本 祐平	今後の教育行政の進め方について
米山 信	本市職員のメンタルヘルス対策について
福井 崇郎	学童保育所の現状と今後の方針及び支援策について
岩下 豊	必要とする人に必要な介護サービスが提供できるまちについて 過大規模校の過密緩和策について
尾島 武弘	古墳の保存と活用事業について 海岸の管理状況について
戸田 進一	大雨被害に対する対応・対策について 「子どもの権利に関する条例」について

ふんちゃんを探せ！
ふんちゃんクイズ

ヒントは、ページをめくって私を探してね。

- ① 前回の市議会議員選挙の投票率は？
- ② 市民1人当たりの市の貯金額は？
- ③ 発達支援センターの名称は？



▲子どもたちが笑顔になれる校区編成を

新設校の最終責任者は予算措置をした市長では

【答弁】 新設校の建設は覚悟をもって進めさせていただきたい

新設校の通学路については担当課と協議中である。現段階で説明会を開催できる状況ではない。福間南小学校校区再編案を示さず情報提供することは混乱を招く可能性も。案決定後の説明会で、通学方法等も説明する。

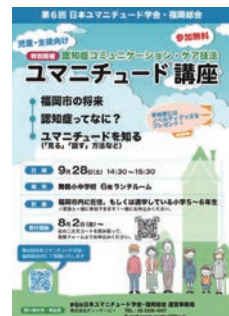
【問】 新設校説明会では、通学路やたけ池の担当課も参加して開催する必要があるのでは。市長の判断で開催できないのか。福間南小学校の校区再編は今年度中に方針決定としているが、進捗状況が見えない。これでは保護者は突然の校区再編と感じる。準備が整いしだい、保護者や地元への説明会を開催予定とのことだが、通学路や通学方法(スクールバス)等、具体的に説明すべきでは。

【答】 新設校の通学路については担当課と協議中である。現段階で説明会を開催できる状況ではない。福間南小学校校区再編案を示さず情報提供することは混乱を招く可能性も。案決定後の説明会で、通学方法等も説明する。

【問】 新設校説明会では、通学路やたけ池の担当課も参加して開催する必要があるのでは。市長の判断で開催できないのか。福間南小学校の校区再編は今年度中に方針決定としているが、進捗状況が見えない。これでは保護者は突然の校区再編と感じる。準備が整いしだい、保護者や地元への説明会を開催予定とのことだが、通学路や通学方法(スクールバス)等、具体的に説明すべきでは。



豆田 優子 議員



▲福岡市が勧めるケア技法「ユマニチュード」

認知症の人に寄り添う地域共生の方策は

【答弁】 専門職や地域と連携し、安心して暮らせる支援の構築を図る

専門職や地域と連携し、安心して暮らせる支援の構築を図る。ユマニチュードを参考にしたい。また、認知症当事者団体との連携、国や県の研修会で得た知識や経験を推進・普及したい。

【問】 誰もが認知症になりうるとの認識のもと、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行された。認知症を早期に発見し専門的医療につなげるための施策は。また、認知症の人の尊厳を守り、介護者の負担を軽減するケア技法「ユマニチュード」を福岡市が導入した。本市でも負担軽減のため、取り入れはどうか。

【答】 現在、地域包括支援センターの専門職が連携し当事者と家族を支えている。必要に応じて適切な医療につないでいる。日常の介護でユマニチュードを参考にしたい。また、認知症当事者団体との連携、国や県の研修会で得た知識や経験を推進・普及したい。

【問】 誰もが認知症になりうるとの認識のもと、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行された。認知症を早期に発見し専門的医療につなげるための施策は。また、認知症の人の尊厳を守り、介護者の負担を軽減するケア技法「ユマニチュード」を福岡市が導入した。本市でも負担軽減のため、取り入れはどうか。



中村 晶代 議員



▲防災施設にも活用できる空調設備の設置を

早期に新設校の保護者説明会が必要では

【答弁】 令和8年度開催予定だが、必要に応じて前倒しを検討したい

新設校の校舎は令和8年度早々の開催を前倒しを検討したい。体育館の空調設備は避難所としての必要性もあり、それが市民の声と十分認識する。開校に合わせた設置をめざしたい。

【問】 新設校の校区に該当する保護者の中には、本当にこの学校に通わせていいのか不安に思っている人もいます。教育委員会では、保護者への説明を令和8年度中に行うとしている。安全性も含めて早期に説明を行う必要があると考えるが、見解は、

【答】 新設校の校舎は令和8年度早々の開催を前倒しを検討したい。体育館の空調設備は避難所としての必要性もあり、それが市民の声と十分認識する。開校に合わせた設置をめざしたい。

【問】 新設校の校区に該当する保護者の中には、本当にこの学校に通わせていいのか不安に思っている人もいます。教育委員会では、保護者への説明を令和8年度中に行うとしている。安全性も含めて早期に説明を行う必要があると考えるが、見解は、



福井 崇郎 議員



▲7月1日大雨直後の学校用地と川の合流地点の様子

学校建設予定地周辺地域のリスク調査は

【答弁】 想定するリスクは出ており調査は行わない

想定するリスクは出ており調査は行わない。県庁の開設許可も出ている。全てのリスクを想定して対策する事は困難である。学校建設に限らず災害に対して100%安全と断定はできないが、できる対策を行い、災害時には避難を促す。

【問】 今年7月に七股池が防災重点農業用ため池に指定された。令和4年に宮司地区に学校建設を決めた時に、予定地にどのようなリスクがあるか等の調査をしなかった事が見落とした原因である。七股池が周辺地域に及ぼす影響調査は次年度以降になる。学校建設による大雨時に浸水深が深くなる地域があることも判明した。予定地周辺に新たなリスクがないか、専門家等を入れ調査し、住民へ説明するべきでは。

【答】 県庁の開設許可も出ている。全てのリスクを想定して対策する事は困難である。学校建設に限らず災害に対して100%安全と断定はできないが、できる対策を行い、災害時には避難を促す。

【問】 今年7月に七股池が防災重点農業用ため池に指定された。令和4年に宮司地区に学校建設を決めた時に、予定地にどのようなリスクがあるか等の調査をしなかった事が見落とした原因である。七股池が周辺地域に及ぼす影響調査は次年度以降になる。学校建設による大雨時に浸水深が深くなる地域があることも判明した。予定地周辺に新たなリスクがないか、専門家等を入れ調査し、住民へ説明するべきでは。



岩下 豊 議員

これまで、議会だよりを多くの人に手に取ってもらいたい！ 議会を身近に感じてほしい！との思いから、さまざまな工夫をしてきました。その中で、目に見える変化を遂げたのは表紙です。表紙の変遷を紹介します。

議会だより表紙の変遷

▲74号(R5年9月発行)～様々な団体の協力で、市民の顔が見える表紙に

▲61号(R2年5月発行)～毎年テーマを設定し、表紙絵を市民公募

▲～57号(R元年5月発行)～これまでの建物の写真が中心